

# 認定書

国住指第3594号  
平成24年3月9日

旭化成建材株式会社  
代表取締役社長 小林 宏史 様

国土交通大臣

前田 武志



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第八号並びに同法施行令第108条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各30分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-2364

2. 認定をした構造方法等の名称

無機質系断熱材充てん／塗装溶融亜鉛めっき鋼板・フェノールフォーム保溫板・火山性ガラス質複層板表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名 :

無機質系断熱材充てん／塗装溶融亜鉛めっき鋼板・フェノールフォーム保溫板・火山性ガラス質複層板表張／セッコウボード裏張／木製枠組造外壁

## 2. 申請仕様の寸法 :

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項目	申請仕様
壁の高さ	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁の厚さ	160.5mm以上
たて枠間隔	500mm以下

## 3. 申請仕様の主構成材料 :

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様
たて枠(荷重支持部材)	材料 : 平成13年国土交通省告示第1541号に適合する壁のたて枠材 断面寸法 : 38×89mm以上
上枠、下枠	材料 : 平成13年国土交通省告示第1541号に適合する壁の上枠及び下枠材 断面寸法 : 38×89mm以上
胴縁	材料 : ①又は② ①普通合板、難燃合板、コンクリート用型枠合板、構造用合板、防炎合板 (日本農林規格に適合するもの) ②針葉樹の下地用製材、針葉樹の構造用製材、広葉樹製材、枠組壁工法用構造用製材、枠組壁工法用構造用たて継ぎ材(日本農林規格に適合するもの) 断面寸法 : 18×45mm以上 取付間隔 : 500mm以下
外装材	材料 : ①～⑦の一 ①塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) ②塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318) ③塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) ④溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ⑤溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317) ⑥溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) ⑦溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) 厚さ : 0.4mm以上 働き幅 : 227mm以下 山高さ : 12mm以上 断面形状 : 平板又は凹凸板(図3参照)
充てん断熱材	材料 : ①、②又は③
無機質系断熱材	①住宅用人造鉱物纖維断熱材(JIS A 9521) ②人造鉱物纖維保溫材(JIS A 9504) ③吹込み用纖維質断熱材(JIS A 9523) 種類 : 1)又は2) 1) ガラスウール 2) ロックウール 厚さ : 10mm以上、密度 : 10kg/m <sup>3</sup> 以上

つづく

## つづき

構造用面材	材料：火山性ガラス質複層板(JIS A 5440) 厚さ：9mm以上				
断熱材	<p>材料：フェノールフォーム保溫板1種2号(JIS A 9511)</p> <p>構成：①及び②</p> <p>①芯材</p> <p>材料：フェノール樹脂発泡体</p> <p>組成(質量%)：</p> <table> <tr> <td>フェノール樹脂</td> <td>94～98</td> </tr> <tr> <td>炭化水素</td> <td>2～ 6</td> </tr> </table> <p>②面材</p> <p>材料：1)～5)の一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ポリエステル不織布</li> <li>2) ポリプロピレン不織布</li> <li>3) ポリエチレン加工紙(JIS Z 1514)</li> </ul> <p>1)、2)及び3)の単位面積質量：20～40g/m<sup>2</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4) はり合わせアルミニウムはく(JIS Z 1520)</li> <li>5) 不燃性の加工紙(けい酸マグネシウム紙、ガラス纖維紙、アルミニウムはく・ガラス纖維複合紙)</li> </ul> <p>形状：平板</p> <p>密度：25(±2)～40(±5)kg/m<sup>3</sup>(芯材)</p> <p>厚さ：20(±2)～210(±6)mm</p> <p>酸素指数：28以上(芯材)</p>	フェノール樹脂	94～98	炭化水素	2～ 6
フェノール樹脂	94～98				
炭化水素	2～ 6				
内装材	<p>材料：①又は②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①せっこうボード(JIS A 6901)</li> <li>②強化せっこうボード(JIS A 6901)</li> </ul> <p>厚さ：12.5mm以上</p>				

4. 申請仕様の副構成材料 :

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様
留付材	<p>外装材用 :</p> <p>材料 : タッピンねじ (JIS B 1125)</p> <p>寸法 : 呼び径 <math>\phi 3.5 \times 20\text{mm}</math>以上</p> <p>留付間隔 : 500mm以下</p> <p>胴縁用 :</p> <p>材料 : タッピンねじ</p> <p>材質 : 1) 又は2)</p> <p>1) 冷間圧造用炭素鋼 (JIS G 3507-2)</p> <p>2) 冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315)</p> <p>寸法 : 胴部径 <math>\phi 6 \times 80\text{mm}</math>以上</p> <p>留付間隔 : 500mm以下</p> <p>構造用面材用 :</p> <p>材料 : ①、②又は③</p> <p>①鉄丸くぎ (JIS A 5508)</p> <p>寸法 : N38以上</p> <p>②太め鉄丸くぎ (JIS A 5508)</p> <p>寸法 : CN50以上</p> <p>③細め鉄丸くぎ (JIS A 5508)</p> <p>寸法 : BN50以上</p> <p>留付間隔 : 周辺部100mm以下、中間部200mm以下</p>
	<p>内装材用 :</p> <p>材料 : ①、②又は③</p> <p>①せっこうボード用くぎ (JIS A 5508)</p> <p>寸法 : GN40以上</p> <p>②十字穴付木ねじ (JIS B 1112)</p> <p>寸法 : 呼び径 <math>\phi 3.1 \times 25\text{mm}</math>以上</p> <p>③ドリリングタッピンねじ (JIS B 1125)</p> <p>寸法 : 呼び径 <math>\phi 3.5 \times 25\text{mm}</math>以上</p> <p>留付間隔 : 周辺部150mm以下、中間部200mm以下</p> <p>防湿気密フィルム用 (防湿気密フィルムを使用する場合) :</p> <p>材料 : ステープル</p> <p>材質 : 1) 又は2)</p> <p>1) ステンレス鋼線 (JIS G 4309)</p> <p>2) 鉄線 (JIS G 3532)</p> <p>寸法 : 内幅9.6mm以上、足長10mm以上</p> <p>留付間隔 : 300mm以下</p>
防水紙	<p>材料 : ①又は②</p> <p>①アスファルトフェルト (JIS A 6005)</p> <p>単位面積質量の呼び : 430以下</p> <p>②透湿防水シート (JIS A 6111)</p> <p>材質 : 1)、2) 又は3)</p> <p>1) ポリエチレン、2) ポリエステル、3) ポリプロピレン</p> <p>厚さ : 0.3mm以下</p>

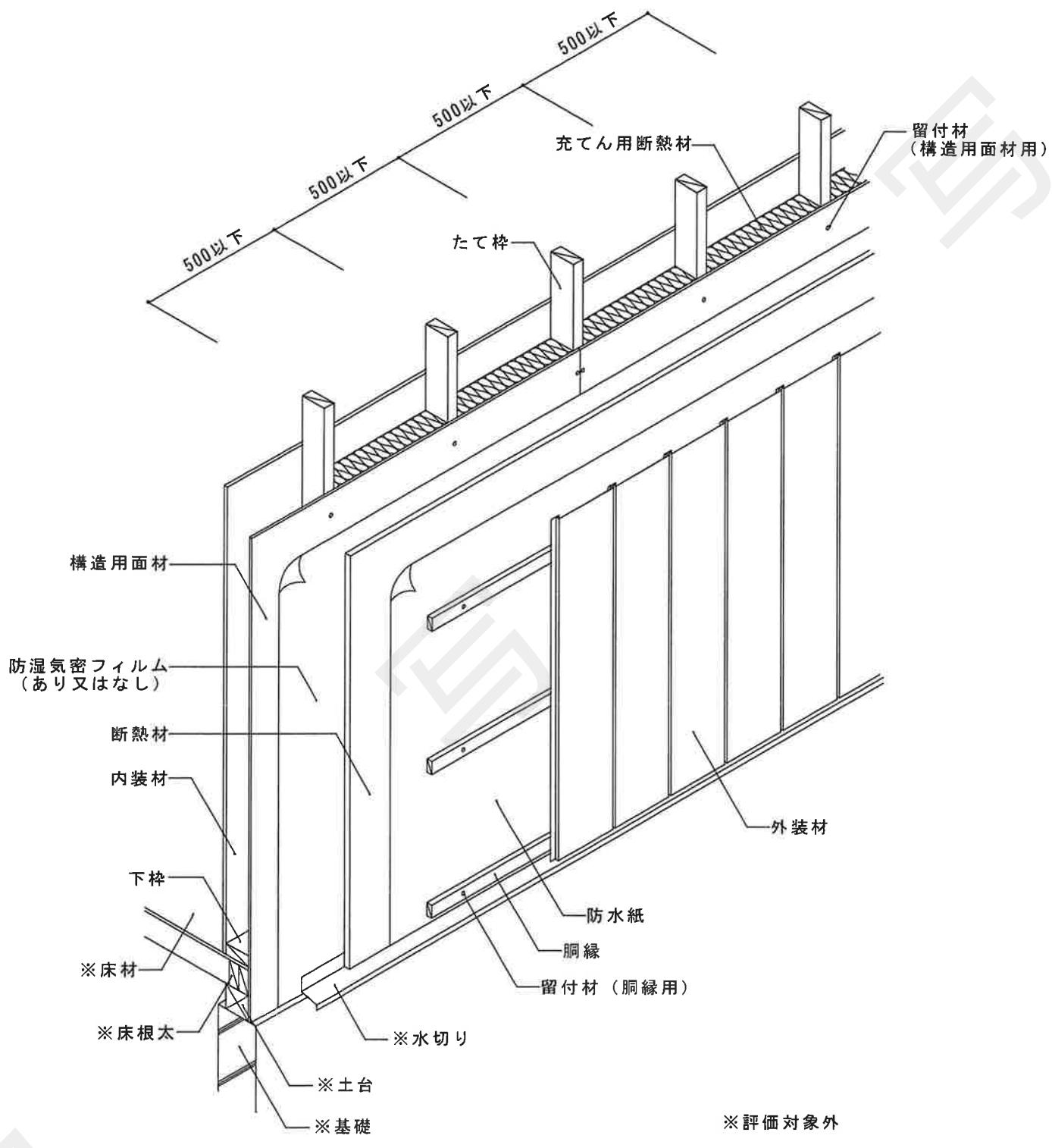
つづく

つづき

防湿気密フィルム	材料：①又は② ①防湿気密フィルム 種類：1)、2)又は3) 1)住宅用プラスチック系防湿フィルム(JIS A 6930) 2)包装用ポリエチレンフィルム(JIS Z 1702) 3)農業用ポリエチレンフィルム(JIS K 6781) 厚さ：0.2mm以下 ②なし
内装材用目地処理材	材料：せっこう系パテ 塗布量：140g/m以上

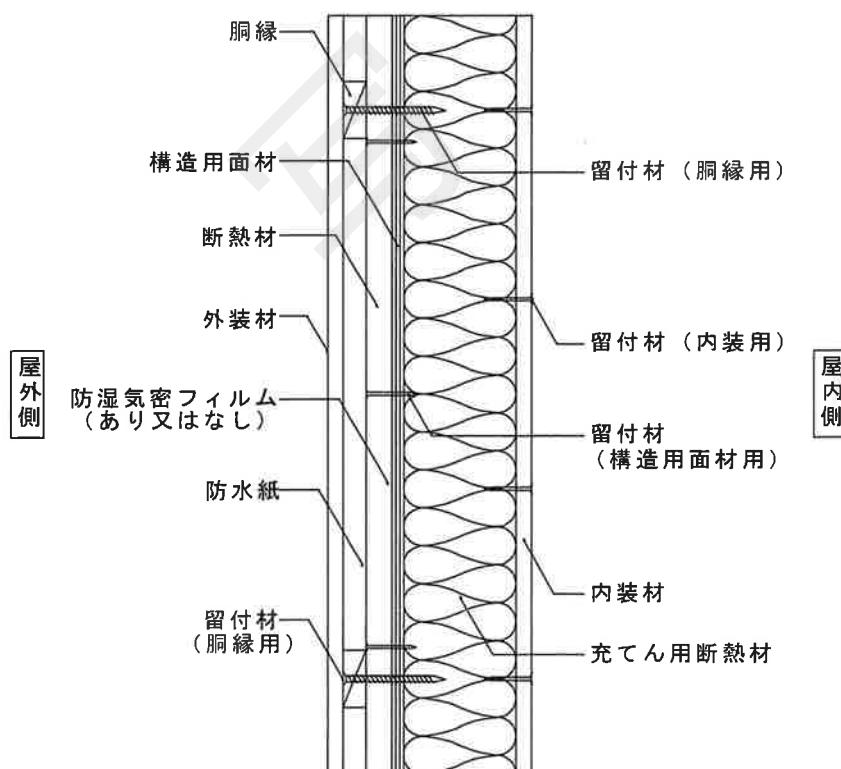
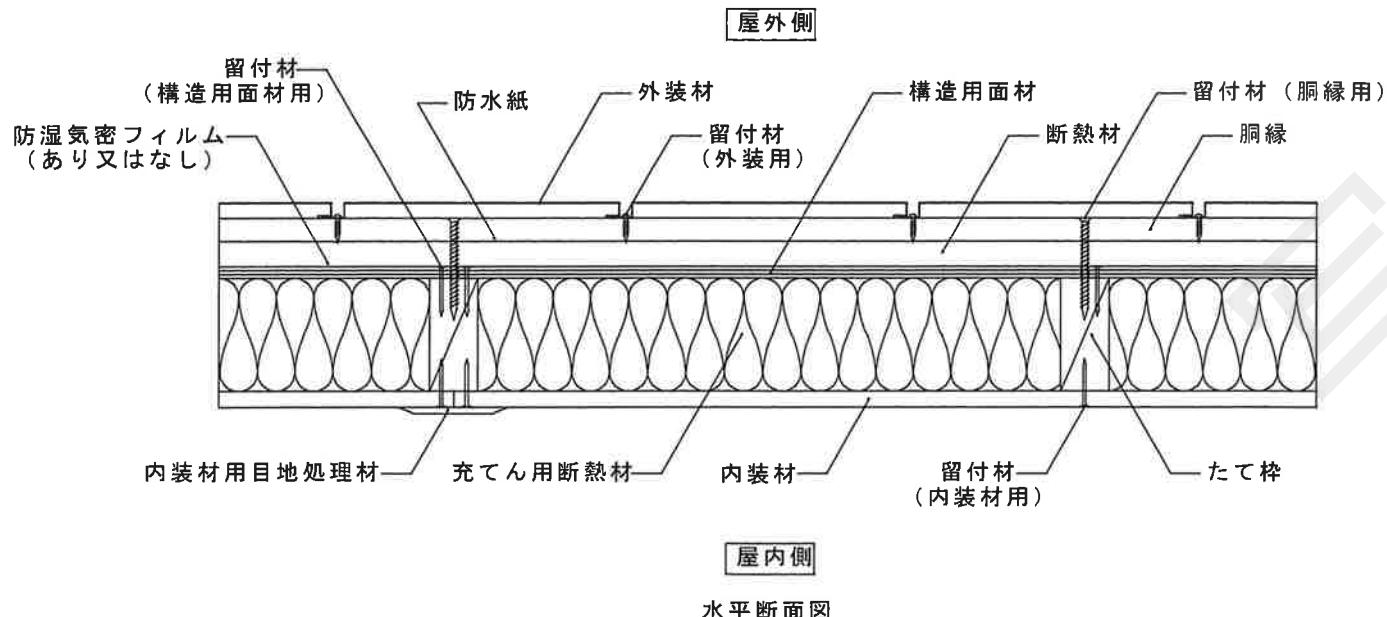
5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1～図3に示す。



透視図

図 1 構造説明図



鉛直断面図

図 2 構造説明図

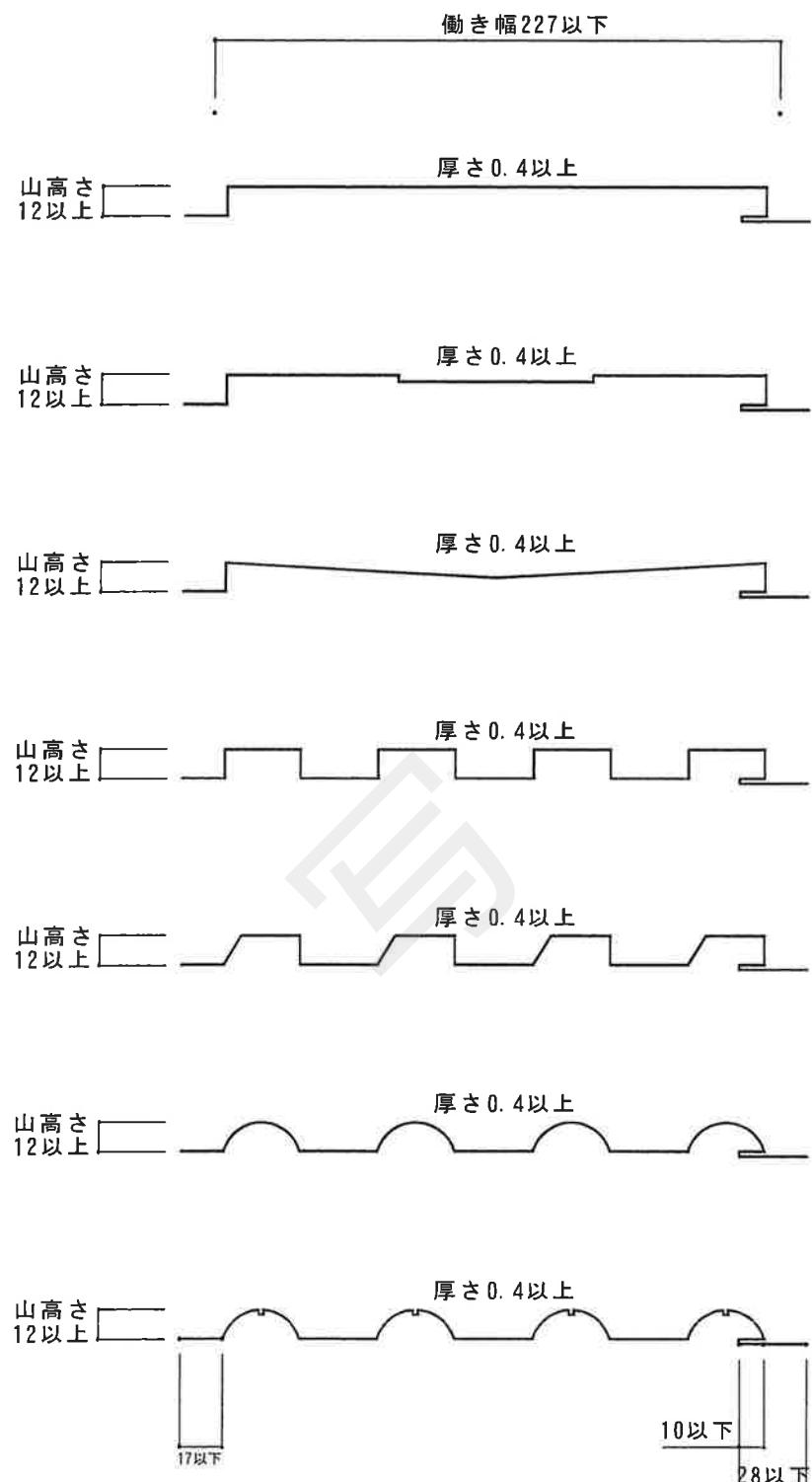


図3 構造説明図

## 6. 施工方法：

施工図を図4及び図5に示す。

施工は以下の手順で行う。

### (1) 下地組等

#### ①下地の組み立て

たて枠は、反り曲がりのないものを使用し、土台に垂直に500mm以下との間隔で取り付ける。

#### ②構造用面材の取り付け

構造用面材は、たて枠の上に構造用面材用留付材を用いて取り付ける。

### (2) 防湿気密フィルムを張り付ける場合

防湿気密フィルムは、横張又は縦張とし、上下・左右の重ね代を30mm以上で、防湿気密フィルム用留付材を用いてたるみ、しわのないよう構造用面材の上に取り付ける。

### (3) 断熱材の取付け

断熱材は、構造用面材の上に取り付ける。

### (4) 充てん断熱材の充てん

充てん断熱材はたて枠間に充てんする。

### (5) 防水紙を張り付ける場合

防水紙は横張を原則とし、重ね代は縦90mm以上、横150mm以上とし、両面テープ等で仮留めし、胴縁で挟み付ける。

### (6) 脇縁の取り付け

脇縁は、断熱材の上に脇縁用留付材を用いて取り付ける。

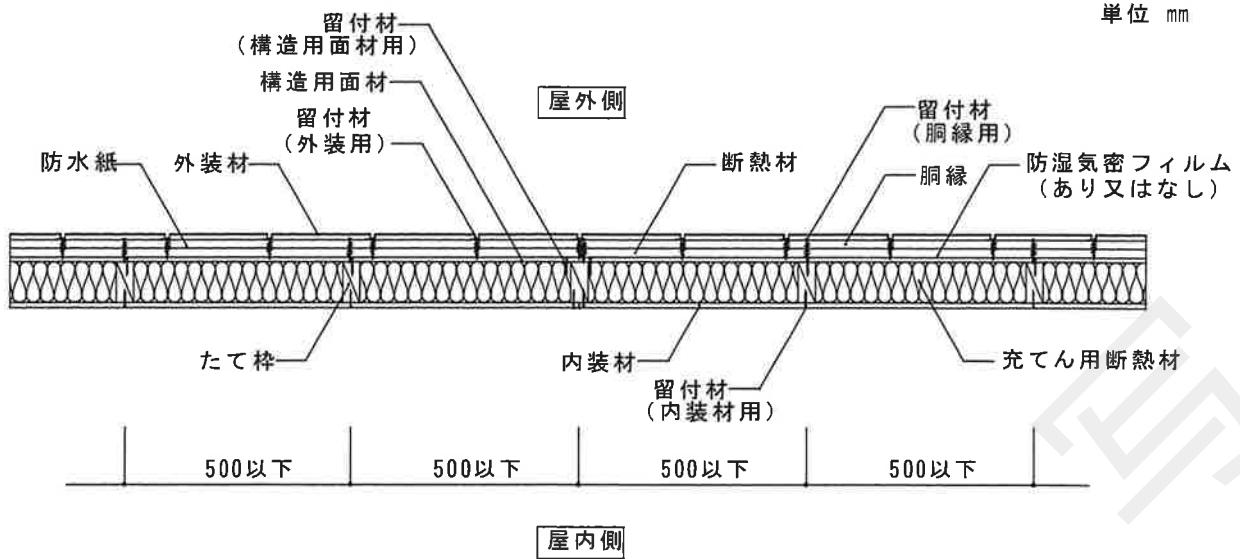
### (7) 外装材の取り付け

外装材は、嵌合部にずれが生じないよう、外装材用留付材を用いて取り付ける。

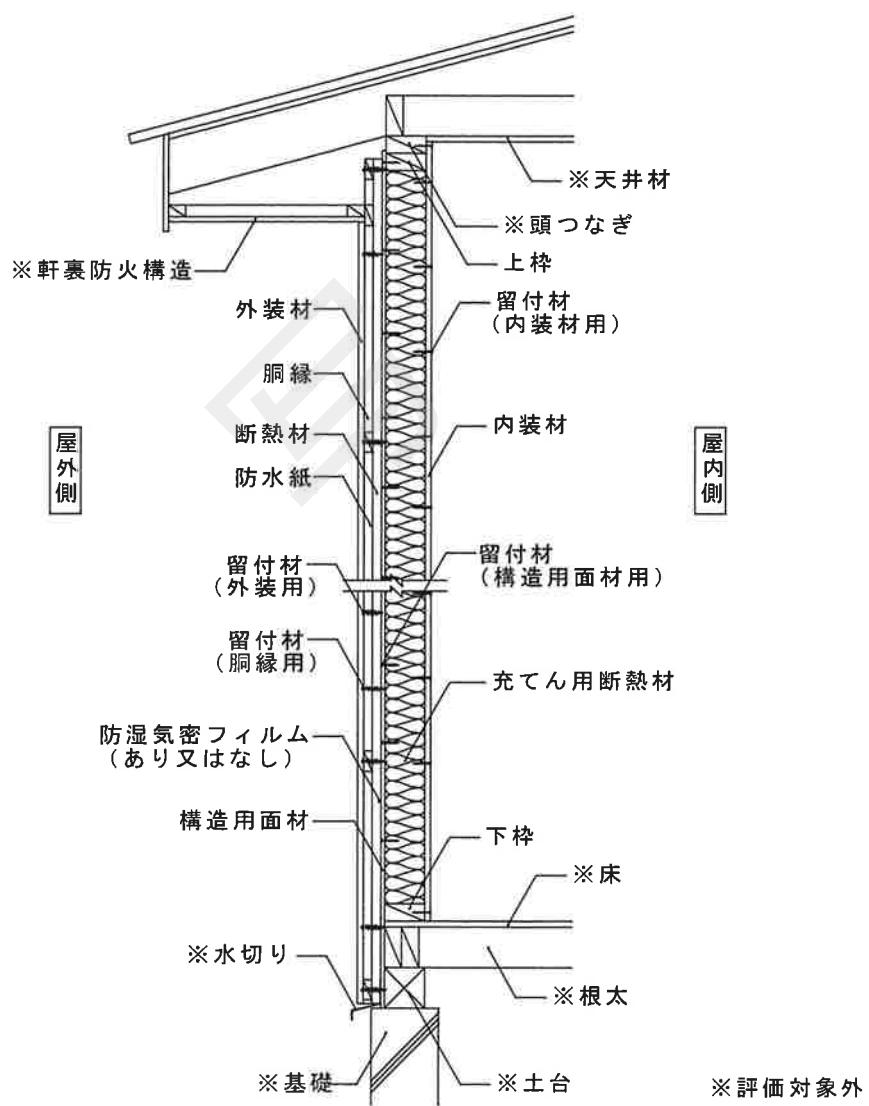
### (8) 内装材の取り付け

内装材は、内装材用留付材を用い、たて枠に取り付ける。目地部には内装材用目地処理材を施す。

単位 mm



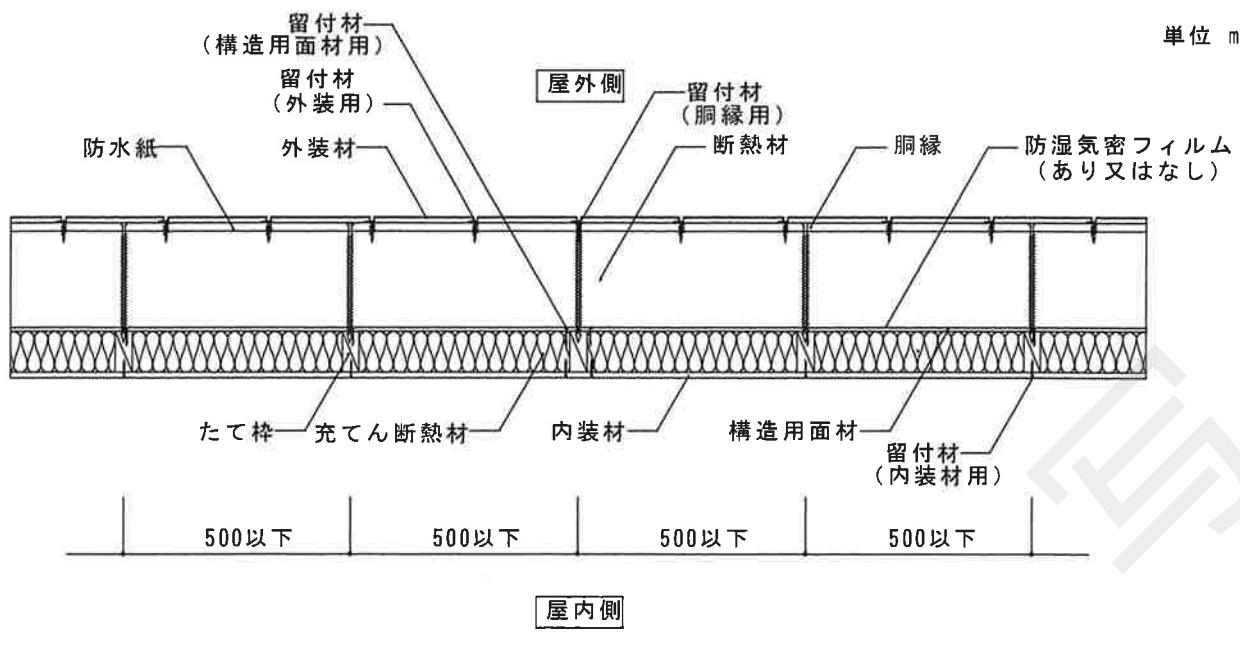
水平断面図



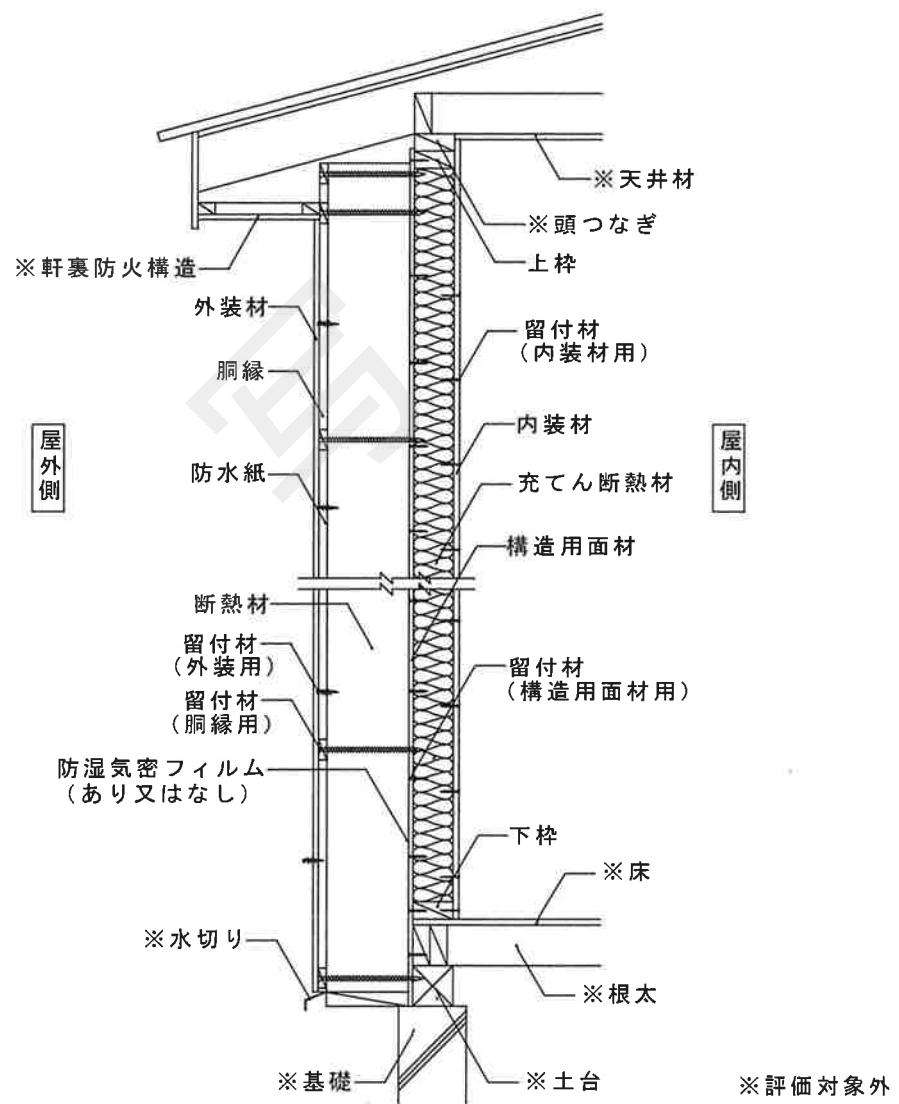
鉛直断面図

図 4 施工図

単位 mm



水平断面図



鉛直断面図

図5 施工図（外張断熱材の最大厚さの施工の場合）